BDP-LX91 の機能追加に関するご案内

取扱説明書の内容に加えて、いくつかの機能が追加されます。本資料では、追加される機能について説明します。また、付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

以下の機能が追加になります。

- DTS-HD の音声出力
- クロスオーバー周波数
- BD-LIVE

DTS-HD の音声出力

BD-ROM に記録されている DTS Digital Surround、DTS-HD(DTS-HD High Resolution Audio、DTS-HD Master Audio) の出力が変更になります。

- 機能追加前は、DTS-HD はそれらに含まれている DTS Digital Surround をリニア PCM またはアナログ音声に変換して出力していました。機能追加後は、DTS-HD をリニア PCM またはアナログ音声に変換して出力します。
- 7.1 チャンネルのスピーカーシステムでご使用の場合、DTS Digital Surround が最大 7.1 チャンネルで出力されます。

詳細については以下の表をご覧ください。

太字部が変更点です。

音声の種類		[音声出力 (7.1ch)] 端子		[デジタル音声出力 (同軸 / 光)] 端子		[HDMI 出力 (MAIN)] 端子	
		2 チャンネル ※1	マルチチャンネル ※1	リニア PCM 音声に変換する ※2	リニア PCM 音声に変換しない ※3	PCM ※4	自動 ※4
BD-ROM	DTS Digital Surround					**7.1 チャンネル音声**	DTS Digital Surround ※6, 8
	DTS-HD High Resolution Audio	2 チャンネル音声に変換	**7.1 チャンネル音声**	2 チャンネル音声に変換	DTS Digital Surround ※5	**7.1 チャンネル音声** ※7	DTS-HD High Resolution Audio ※6, 7, 8
	DTS-HD Master Audio						DTS-HD Master Audio ※6, 8, 9

※ 1　[音声出力モード] が [2 チャンネル] または [マルチチャンネル] に設定されているとき。
※ 2　[DTS 出力] が [DTS → PCM] に設定されているとき。
※ 3　[DTS 出力] が [DTS 1]/[DTS 2] に設定されているとき。
※ 4　[HDMI 音声出力] が [PCM] または [自動] に設定されているとき。
※ 5　[DTS 出力] が [DTS 2] に設定されていると、DTS Digital Surround のビットストリームで出力しているとき、第 2 音声 (セカンダリオーディオ)、インタラクティブオーディオは混合されません。
※ 6　DTS-HD Master Audio、DTS-HD High Resolution Audio、または DTS Digital Surround をビットストリームで出力しているとき、第 2 音声 (セカンダリオーディオ)、インタラクティブオーディオは混合されません。
※ 7　出力解像度を 480i または 480p に設定すると、[HDMI ハイスピード伝送] の設定または接続している HDMI 機器によっては、リニア PCM2 チャンネルで出力されることがあります。
※ 8　接続している HDMI 機器が DTS-HD Master Audio、DTS-HD High Resolution Audio のビットストリームに対応していないときは、リニア PCM7.1 チャンネルまたは DTS Digital Surround のビットストリームで出力されます。接続している HDMI 機器が DTS Digital Surround のビットストリームに対応していないときは、リニア PCM で出力されます。
※ 9　出力解像度を 480i または 480p に設定すると、[HDMI ハイスピード伝送] の設定または接続している HDMI 機器によっては、リニア PCM2 チャンネルまたは DTS Digital Surround のビットストリームで出力されることがあります。

ご注意

- 音声端子として選んだ端子以外のすべての端子からの出力は、コンテンツ製作者の意図したようには聞こえないことがあります。

クロスオーバー周波数

スピーカー設定でクロスオーバー周波数の設定が可能になります。

クロスオーバー周波数は、スピーカーの大きさを [スモール] に設定しているスピーカーの低音域の何 Hz 以下をサブウーファーまたは L/R に振り分けて出力するか、また LFE(もともとサブウーファーに出力するチャンネル) の何 Hz までを出力するかを設定します。

クロスオーバー周波数を変更する

- スピーカーの大きさを [スモール] に設定しているスピーカーがないときは、クロスオーバー周波数は [バイパス] を選んでください。
- スピーカーの大きさを [スモール] に設定しているスピーカーがあるときは、クロスオーバー周波数を選んでください (バイパスは選べません)。
- 取扱説明書の「詳細設定」、「スピーカーの設定を変更する」もあわせてご覧ください。

1 停止中にホームメニューを表示する

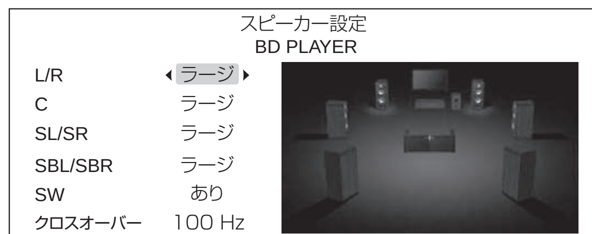
ホームメニューボタンを押します。

2 [本体設定] → [スピーカー] → [スピーカー設定] → [次画面へ] を選ぶ

⬆/⬇ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。

3 クロスオーバーを選んで設定を変更する

⬆/⬇ ボタンで選んで、**⬅/➡ ボタン**で設定を変更します。



- **クロスオーバー** … バイパス /50 Hz / 80 Hz / 100 Hz / 150 Hz

お知らせ

- フィルターをバイパスする機能のあるサブウーファーを接続して、スピーカーの大きさを [スモール] に設定しているスピーカーがないときは、サブウーファー側のフィルタをバイパスに設定すると、本機の高精度なデジタルフィルタを使用できます。このようなとき、クロスオーバー周波数は [バイパス] 以外に設定してください。
- クロスオーバー周波数の初期値は [100 Hz] に設定されています。
- 機能追加前は、スピーカーの大きさを [スモール] に設定しているスピーカーがあるときは [100 Hz] で、ないときは [バイパス] で動作していました。

BD-LIVE

BD-ROM Profile 2 に対応します。これにより BONUSVIEW 機能に加え、BD-LIVE 機能にも対応します。インターネットを経由して、予告編映像、追加の音声 / 字幕言語のダウンロードやオンラインゲームなどの BD-LIVE 機能が楽しめます。BD-LIVE 機能でダウンロードした追加データ (予告編映像など) は、本機の内蔵メモリー（4GB）に記憶します。BD-LIVE 機能についてはディスクの説明書をご覧ください。



◆ “ BD LIVE” ロゴは Blu-ray Disc Association の商標です。

- BD-LIVE 機能を楽しむときは、インターネットにつながっているイーサネットハブ (またはハブ機能付きルーター) と本機を接続してください。
- ネットワークの接続については、取扱説明書の「ネットワークに接続する」をご覧ください。

BD の追加データを消去する

本機の内蔵メモリーがいっぱいになると、BD の追加データ (BD-LIVE 機能でダウンロードしたデータや BONUSVIEW 機能で使用するデータ) がダウンロードできなくなります。

内蔵メモリーの記憶領域が不足していることを知らせるメッセージが表示されたときは、[本体設定] の [BDMV データ消去] で追加データを消去してください。

ご注意

- BDMV データ消去を実行すると、BD-LIVE 機能でダウンロードしたデータや BONUSVIEW 機能で使ったデータ、BD-ROM のアプリケーションデータ（ゲームのハイスコアやブックマーク情報など）を消去します。
- BDMV データ消去には時間がかかります。
- 消去中は電源コードを抜かないでください。

1 ホームメニューを表示する

ホームメニューボタンを押します。

ディスクが入っているときは操作できません。

2 [本体設定] → [オプション] → [BDMV データ消去] → [次画面へ] を選ぶ

⬆/⬇ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。

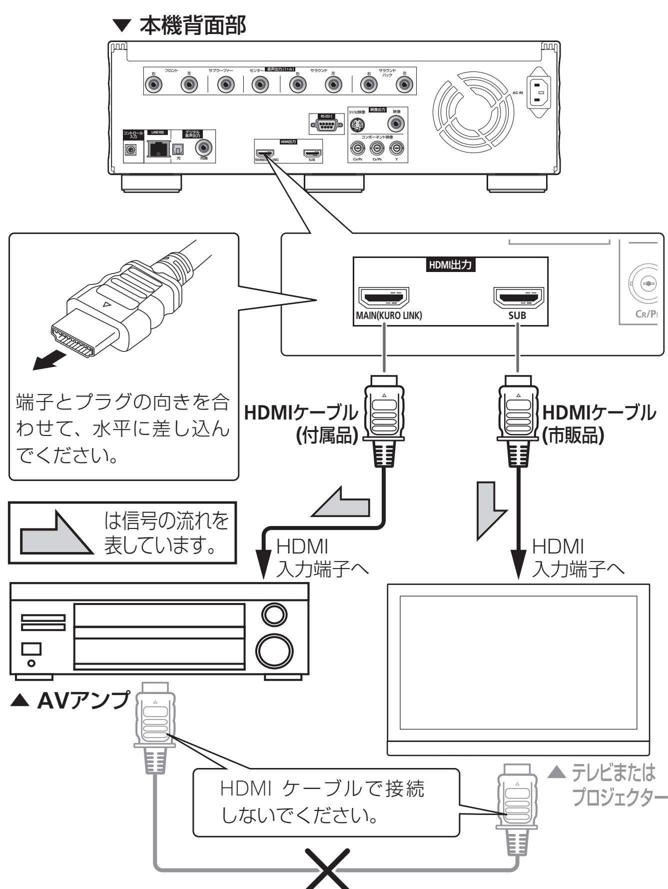
3 データを消去する

⬅/➡ ボタンで [はい] を選んで、決定ボタンを押します。

- **BD-LIVE 機能 (BD のインターネット接続) が使えない。**
  - 取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の「ソフトウェア更新」と同様の確認を行ってください。
  - 前ページの「BD の追加データを消去する」を行ってください。

- **BD-LIVE に対応したディスクを読み込むときに「BD のインターネット接続を許可しますか ?」と表示される。**
  - インターネット接続の安全性に懸念があるディスクで表示されます。通常は「いいえ」を選んでください。インターネット接続を許可するときは [はい] を選んでください。
  - BD-Live に非対応のディスクでも表示されることがあります。

その他（よくあるお問い合わせ）



取扱説明書の [接続]、[AV アンプと接続する] の [より良い音を楽しむためには] での接続図について

Q　「HDMI ケーブルで接続しないでください。」の部分を接続したい。

A　接続するときは以下のことに注意してください。

① 音質に影響することがあります。

② テレビの KURO LINK 機能をオフに設定してください。

- KURO LINK 機能によってテレビの入力が HDMI MAIN 側に切り換わってしまうことがあります。
- テレビでオフできないときは本機の KURO LINK をオフに設定してください。ただし PQLS が機能しなくなります。

③ 接続機器によっては誤動作することがあります。誤動作するときは、接続を外してください。